

第6次持田地区 地域福祉活動計画

～こころ豊かに住みよいまちづくり～

令和6年度～令和10年度

(2024年度～2028年度)

持田地区社会福祉協議会

目 次

はじめに

第1章. 第5次計画の検証と今後の課題・・・P 1～4

第2章. 持田地区の現状

- ・持田地区の現状について・・・P 6
- ・地域別・年齢別人口集計表・・・P 7
- ・持田地区人口の推移・・・P 8
- ・なごやか会、要配慮者支援会議設置状況・・・P 9

第3章. 持田地区の福祉活動

- ・持田地区の福祉活動・・・P 12～13
- ・令和5年度 敬老会実施内容・・・P 14

第4章. アンケート検証

- ①子育て支援アンケート・・・P 16～17
- ②生活支援アンケート・・・P 18～20

第5章. 第6次地域福祉活動計画ワークショップ結果まとめ・・・P 21～28

第6章. 第6次持田地区地域福祉活動計画

- ・第6次地域福祉活動計画表・・・P 31～32
- ・地域福祉活動計画推進体制・・・P 33
- ・計画策定までの経過・・・P 34
- ・策定委員名簿・・・P 35

はじめに

持田地区社会福祉協議会は、活動スローガン『心豊かに住みよいまちづくり』のもと、第1次地域福祉活動計画(平成14年度～平成17年度)を策定し、現在第5次地域福祉活動計画(平成31年度～令和5年度)に基づき活動に取り組んで参りました。

この活動計画は5年間で、行政の地域福祉計画と共に地域福祉を推進していく共通目的をもち、地域福祉課題の整理・分析と対応等を共有化し、相互連携して今日まで取り組んで参りました。

今回、第6次地域福祉活動(令和6年度～令和10年度)の策定に当たり、令和5年6月に策定委員会を設置、以降7回にわたり協議を重ねてきました。

計画の策定にあたっては、

1. 現行5次計画の実施状況と結果を踏まえ、残された課題等の次期計画への反映
2. 地域の皆様方の活動への積極的参加型の計画策定(→福祉活動人材の担い手づくり)
3. 理想迫及型ではなく、実効性を重視する

を基本として協議を行いました。具体的には、60歳以上の世帯を対象に民生児童委員と福祉推進員の皆様にご協力いただき、生活に係るアンケート調査を実施しました。また、子育て世帯を対象には母子保健推進員と持田地区担当保健師の皆様にご協力いただき、子育てに係るアンケート調査も実施しました。

各アンケート結果に基づいて、策定委員、民生児童委員、福祉推進員、母子保健推進員、地区社協理事等によるワークショップを開催し、計画策定に反映させ集約を実施する運びとなりました。

持田地域もこの先5年間をみますと、少子高齢化等厳しい状況も予測できます。『心豊かに住みよいまちづくり』に向けた地域皆様方の一層の御支援、御協力を改めましてお願い申し上げます。

終わりに、策定委員の皆様、アンケート調査にご協力いただきました皆様、策定委員会等に欠かさず参加いただきました松江市社会福祉協議会の職員の皆様と松江市の保健師の皆様に心から御礼申し上げます。

令和6年3月31日

持田地区社会福祉協議会

会長 井上 節男

第 1 章

第 5 次計画の検証と今後の課題

第5次計画の検証と今後の課題

【支え合い】

1. 生活支援

(1) 買い物支援の情報提供

福祉推進員やなごやか世話人に向けて三河屋サービスなどのサービスを情報提供した。必要な情報を盛り込んだ持田版くらしの便利帳作成に向け検討を行った。

(2) 有料買い物ボランティアなどの仕組みづくり

検討できず今後の課題となった。他地区などを参考に検討していく必要がある。

(3) 交通手段の確保（コミバス存続のための利用促進の取組み）

コミュニティバス利用促進協議会を中心に利用促進・コース拡充を検討した。

2. 福祉の担い手づくり

(1) 高齢者同士の支え合い、誘い合う関係作りのためのコミュニティづくり

コロナ禍で各地区において実施される「なごやか会」の開催が減ったが、感染症法上の分類が令和5年5月に「5類」に引き下げられて以降、再開されてきている。

(2) 誰もが役割を持ち、相互に支え合い、自分らしく活躍できるコミュニティづくり
「なごやか会」に参加することにより、自分の知識や経験を発揮することができている。今後も活動が継続していくように支援する必要がある。

(3) 福祉推進員活動の充実

福祉推進員の役割を理解するとともに、課題などを話し合う交流会を実施した。今後も研修会や交流会などにより、活動の充実を図る必要がある。

3. 高齢者の日常的な見守り

(1) 配食サービスの実施（年3回）

対象者の増加に対応するため、年齢の引き上げ（77歳→80歳）など対象基準の見直しを行った。

(2) 福祉推進員による定期的な訪問（月1回）

月1回の定期的訪問はできなかったが、新たに暑中見舞いの手渡しなどにより訪問回数を増やすことに努めた。

4. 支援が必要な人への災害時支援

(1) 自主防災隊、要配慮者支援制度の充実（未実施地区への立ち上げ促進）

現時点では要配慮者組織の世帯加入率は29%にとどまっている。未実施地区への説明会を開催したが、立ち上げには至らなかった。今後も立ち上げを促進していく必要がある。

(2) 積雪時に自主防災隊、要配慮者支援組織の機能を活かす

積雪時の両組織の活動状況を把握できなかった。今後は組織の活性化や未設置地域の支援のため、持田地区全体での組織化の検討が必要であると思われる。

【子育て支援】

1. 児童の見守り・居場所づくり

(1) 子ども達が安心して登下校できるための定期的な見守り活動

小学校児童の登校時に横断歩道を誘導する交通指導員や下校時に行う青パト隊のパトロールなどが定期的実施された。また、現在「子ども110番の家」として持田地区は16軒に協力いただいている。

(2) あいさつ運動、夏休み夜間パトロール

毎月1回のあいさつ運動と夏休み期間中に1回の夜間パトロールが実施された。

(3) 放課後・長期休暇中の居場所づくり（子ども広場・寺子屋事業など）

子ども広場や寺子屋事業が行われている。令和2年4月から7月まで待機児童の緊急対策として学習支援など子どもの居場所づくりが行われた。

また、令和4年7月に子ども食堂を立ち上げ、毎月1回実施している。

2. 孤独にならない子育て

(1) 親子の交流の場づくり（にこにこ教室、わいわいルーム）

にこにこ教室は年10回、わいわいルームは年6回実施しているが、登録会員が減少傾向にあり、内容の検討が必要である。

(2) 誕生祝い金

令和元年22件、令和2年13件、令和3年8件、令和4年18件、令和5年7件、となった。

(3) 子育て中の人への子育て支援情報の提供

子育てだよりを年1回発行し、赤ちゃん訪問の際に渡している。インターネットなど広く周知できる方法を検討する必要がある。

【交 流】

1. 地域とのつながり

(1) なごやか寄り合い事業への支援（情報交換会の開催等）

各地区での開催に向け、チラシの印刷やボランティア行事保険への加入など支援を行った。また、各地区の役員を集め情報交換会を実施した。

(2) やすらぎ喫茶の開催（魅力ある居場所の工夫）

会場を季節の花飾り、手作りお菓子付の飲物を毎回延べ100食以上提供している。また、市保健師による血圧測定や市社協による福祉なんでも相談を実施している。令和5年11月で17周年を迎えた。

(3) やすらぎ喫茶に参加しやすい工夫（送迎等）

千鳥福祉会による送迎を行ってもらっていたが、コロナ禍により送迎ができなくなった。

(4) 敬老会を開催しやすいよう助成金で支援する

助成金を活用し各地区で開催されている。（詳細：P13参照）

【健康づくり】

1. 住民の健康づくり

(1) もちだ健康推進隊による健康づくり事業

生活習慣病予防の講演会やウォーキング事業などを公民館との共催により実施した。

(2) 健康診断の受診率向上

各健診前日に広報車による広報活動を実施した。受診率はコロナ禍により低下したが少しずつ上昇してきている。

若い世代への働きかけ方法が課題となっている。

【連 携】

1. 民生児童委員と福祉推進員の連携

合同研修会の開催など情報交換の場を年数回実施した。今後とも定期的にも実施し、連携を深める必要がある。

2. 関係機関や地区内団体との連携強化

松江市、松江市社会福祉協議会、川津交番などの関係団体と地区内の鶴友会、自治会連合会、交通安全協会等の諸団体との連携により共催事業など有効な取組みを実施した。

3. 地域の福祉施設との連携

(1) 社会福祉法人千鳥福祉会

毎年開催されていたサマーフェスタはコロナ禍により休止しているが、やすらぎ喫茶へ毎回多くの参加者がある。ふるさと祭りで入所者の作品を展示している。

(2) 介護老人保健施設もちだの郷

平成26年に「災害時の高齢者の支援に関する協定」を持田地区社会福祉協議会と結んでいる。施設の栄養士などにより出前講座を実施していただいている。

ふるさと祭りで入所者の作品を展示している。

(3) 介護老人保健施設悠々園

ふるさと祭りで入所者の作品を展示している。

4. 福祉推進員の選任

各自治会との連携により福祉推進員の再任や増員を図り、途切れることのない活動ができるよう働きかけている。

【広 報】

1. 適切な広報

年1回の持田社会福祉だよりのほかもちだ社協通信を年2回発行し、地区社協や民生児童委員の活動などを広く周知した。

第 2 章

持田地区の現状

持田地区の現状について

	第4次策定時 (H25年)	第5次策定時 (H30年)	第6次策定時 (R5年)
人口(人)	4,045	3,939	4,280
世帯数(世帯)	1,654	1,727	1,924
自治会加入率(%)	70.9	66.5	64.7* ¹
生産年齢人口(人)	2,591	2,381	2,471
年少人口(15歳未満)	501	484	626
就学前人口(0~6歳)	203	225	314
0歳児数(人)	23	25	48
65歳以上人口(人)	953 (23.6%)	1,074 (27.3%)	1,183 (27.6%)
一人暮らし高齢者数(人)	215	268	306
高齢者世帯(世帯)	155	178	235
介護認定者数(人)	173	191	213
要支援(人)	42	53	70
要介護(人)	131	138	143
身体障がい者数(人)	126	134	142
知的障がい者数(人)	28	71	73
精神障がい者数(人)	20	42	65

(出典) 松江市統計情報データベース、松江市政策統計システム

(注)*1は令和2年4月末現在、それ以外は令和5年3月末現在

地域別・年齢別人口集計表

西持田

	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	計	65以上
H30	147	121	201	177	175	145	95	123	171	118	1473	28.0%
R 5	252	158	176	253	213	139	76	96	220	137	1720	26.3%
増減	+105	+37	-25	+76	+38	-6	-19	-27	+49	+19	+247	

東持田

	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	計	65以上
H30	99	162	142	132	176	284	111	109	134	83	1432	22.8%
R 5	109	129	118	141	156	222	158	103	172	106	1414	26.9%
増減	+10	-33	-24	+9	-20	-62	+47	-6	+38	+23	-18	

川原

	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	計	65以上
H30	17	13	8	22	19	17	15	17	20	13	161	31.1%
R 5	23	12	15	19	15	28	9	13	24	22	180	32.7%
増減	+6	-1	+7	-3	-4	+11	-6	-4	+4	+9	+19	

坂本

	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	計	65以上
H30	37	23	34	49	45	44	25	27	31	35	350	26.6%
R 5	33	34	100	45	63	44	26	26	46	35	452	23.6%
増減	-4	+11	+66	-4	+18	±0	+1	-1	+15	±0	+102	

福原

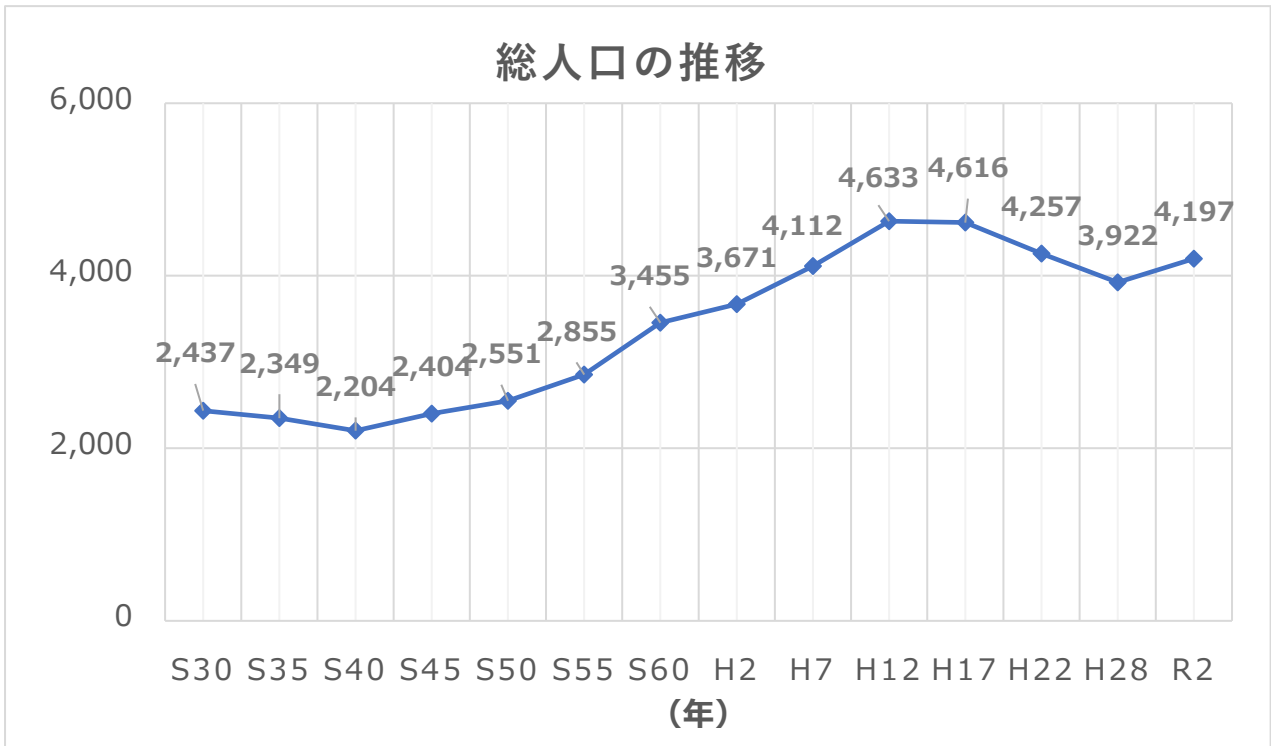
	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	計	65以上
H30	20	50	46	48	82	78	27	45	101	75	572	38.6%
R 5	31	30	52	52	60	80	41	27	87	80	540	35.9%
増減	+11	-20	+6	+4	-22	+2	+14	-18	-14	+5	-32	

持田合計

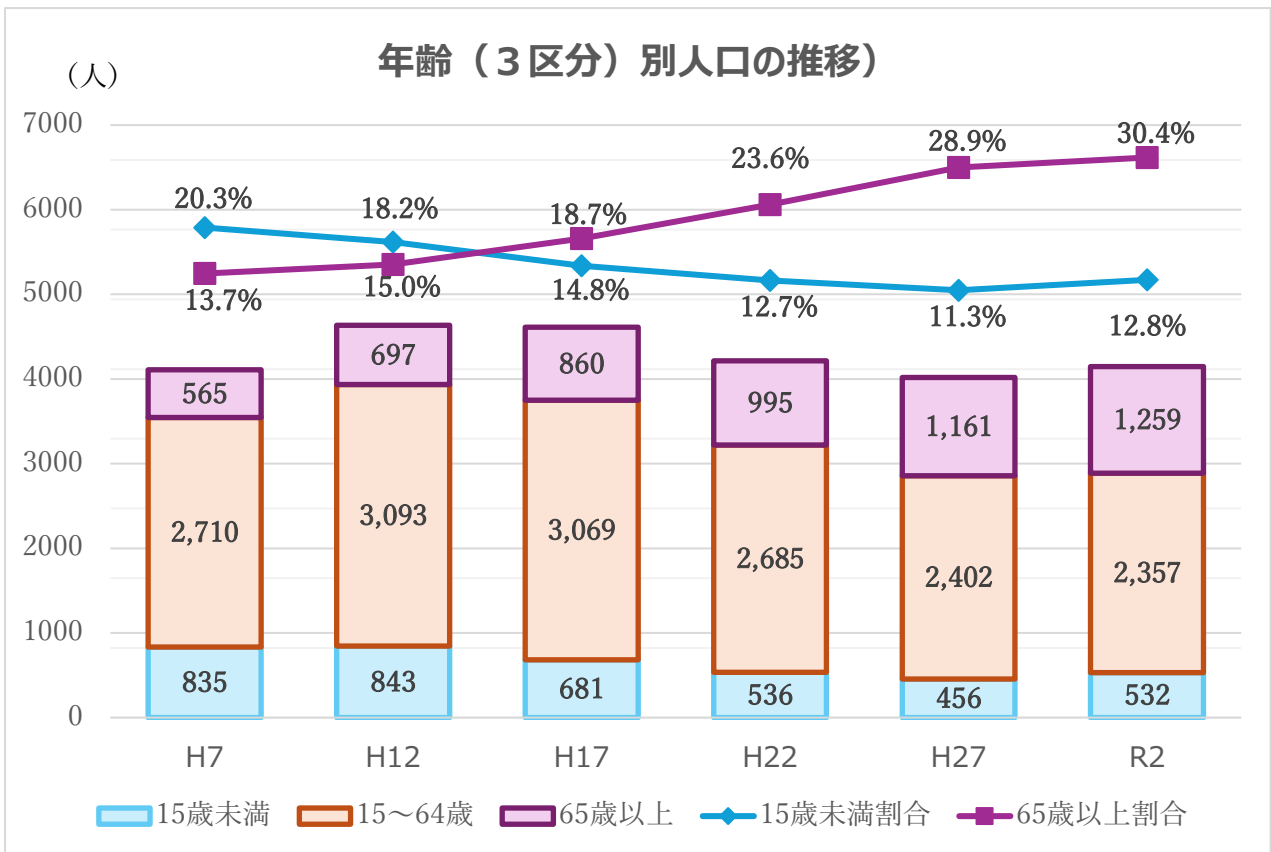
	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69			70~79	80~	計	65以上
							60~64	65~69	小計				
H30	320	369	431	428	497	568	273	321	594	457	324	3988	27.6%
R 5	448	363	461	510	507	513	310	265	575	549	380	4306	27.7%
増減	+128	-6	+30	+82	+10	-55	+37	-56	-19	+92	+56	+318	

出典：松江市統計情報データベース

持田地区人口の推移



出典：国勢調査



出典：国勢調査

なごやか会、要配慮者支援会議設置状況

自治会名	加入世帯数	なごやか会名	要配慮者支援会議
旭の森	68	扇会	旭の森地区要配慮者支援会議
福原上	41	福原なごやか会	福原地区要配慮者支援会議
福原中	22		
福原下	38		
坂本上	14	坂本なごやか会	—
坂本中	29		
坂本下	46		
川原上	32	川原なごやか会	川原地区要配慮者支援会議
川原下	19		
納蔵東	14	納蔵なごやか寄り合い会	東持田地区要配慮者支援会議
納蔵西	17		
石野	13	石野・以後後久地域なごやか会	
以後後久	11		
太田上	24	太田なごやか会	—
太田下	54		
太田中	17	—	—
平成	280	平成なごやか会	—
小倉	8	小倉・日吉・亀尾なごやか会	西持田地区要配慮者支援会議
日吉	20		
亀尾	24		
和田上	15	和田なごやか会	和田地区要配慮者支援会議
和田中	16		
和田下	15		
グリーンテラス 西持田	80	—	—
祖母畑	56	耳高・祖母畑なごやか会	—
耳高	52		耳高地区要配慮者支援会議
竹崎アパート	96	—	—
竹崎団地	68	竹崎なごやか会	—
公務員住宅	4	—	—

(令和6年1月31日現在)

第 3 章

持田地区の福祉活動

持田地区の福祉活動



【敬老会助成事業】



【配食サービス】



【やすらぎ喫茶】



【ふれあい食堂】



【福祉推進員交流会】



【生活習慣病予防講演会】



【民生児童委員・福祉推進員連絡会】



【各地区なごやか会】



【にこにこ教室】



【寺子屋事業】



【あいさつ運動】



【子ども図書】

令和5年度 敬老会実施内容

地区名	対象年齢 参加者数/対象者数	内 容
旭の森	70歳以上 21名/46名	福原会館にて隠岐民謡踊りを鑑賞。終了後、食事会とカラオケをした。
福原 上・中・下	75歳以上 16名/89名	福原中集会所にて、銭太鼓民謡を鑑賞し昼食会をした。
坂本 上・中・下	77歳以上 12名/46名	坂本集会所にてマジックショーの鑑賞とお茶会をした。欠席の方には紅白饅頭・赤飯・千鳥福祉会製作の記念品を進呈した。
川原 上・下	77歳以上 7名/22名	対象者へ赤飯とお酒を進呈した。川原上集会所にて「川原地区収穫祭交流会」を開催した。
納蔵 東・西	70歳以上 30名/30名	赤飯を進呈した。
石野 以後後久	77歳以上 22名/22名	紅白まんじゅうと赤飯を進呈した。卒寿・米寿の方へ記念品を進呈した。
太田 上・下	77歳以上 30名/30名	記念品を進呈した。
平成ニュータ ウン	77歳以上 45名/48名	お弁当と記念品を進呈した。
小 倉	77歳以上 6名/6名	お弁当を進呈した。
日 吉	75歳以上 7名/7名	記念品を進呈した。
亀 尾	77歳以上 7名/17名	お弁当と記念品（菓子）を進呈した。
和 田 上	77歳以上 7名/7名	お祝いの手紙を添えてお祝いの品を進呈した。
和 田 中	75歳以上 10名/10名	赤飯とお菓子のセットを進呈。
和 田 下	70歳以上 24名/24名	記念品を進呈した。
祖 母 畑	77歳以上 14名/14名	対象者へタオルセットを進呈した。
竹崎アパート	80歳以上 8名/8名	記念品を進呈した。
竹崎団地	77歳以上 32名/32名	赤飯と商品券を進呈した。
耳 高	75歳以上 32名/38名	お祝い弁当と紅白饅頭を進呈した。

第 4 章

アンケート検証

アンケート検証

第6次持田地区地域福祉活動計画を策定するにあたり、就学前の子どもがいる世帯を対象とした「子育て支援アンケート」、また、60歳以上の独居世帯と60歳以上のみの世帯を対象とした「生活支援アンケート」を実施した。

① 子育て支援アンケート

質問1. 公民館での活動に参加されたことがありますか？

質問2. 公民館活動の情報をどこで知りましたか？

- ・33人から回答を得る
- ・公民館の活動には33人の内55%の18人が参加経験あり。
- ・公民館活動参加経験あり18人の内、公民館の情報は、公民館だより7、知人など7、そのほか保健師の訪問や市報から入手

課題・対応策

☆公民館だよりなどが手に入らないアパートなど自治会未加入世帯への情報の提供

質問3. 公民館や地域でどんな支援や活動があるといいと思いますか？

- ・活動（イベント）
年齢別で遊んだり、イベントがあれば嬉しい。
離乳食講座（もぐもぐ教室の場所が遠いので）
読み聞かせやお祭り
イベントに参加したいのですが、大体平日なので参加できない。
- ・交流
定期的に子育てでの集まりがあるといいと思う。
地域のお母さんたちと気軽に話せるといい。
子育て中のお父さんとお母さんとの交流。
- ・場所
気軽に立ち寄れる場所があるといい。
松江市のあいあいルームやおもちゃの広場のような場所が増えてほしい。

課題・対応策

- ☆イベント、交流の場などの情報が必要な人に伝わっているか
- ☆イベントの土日開催検討

質問4. 身近に子育ての協力者や相談できる人がいますか？

- ・ほとんどの人が相談する人がいる。
家族、友人、職場の人、地域の人

質問 5. 子育てをしている中で、どんな悩みがありますか？

・育児の内容

子どもの発育に関すること

2人続けて出産したので上の子が保育所に通っておらず、集団行動や月齢に応じた行動や遊びができているか不安である。

・子育ての疲労・負担感

預けるところがないので休みがない。

泣き声が大きく、近所迷惑になっていないか心配。母親しか受け入れず、父親でも大号泣するので一人になる時間がない。

たまに、一人で育児をしている気持になり、不安感やイライラでいっぱいになるときがある。

平日は支援センターなどで遊べるが、土日に無くて1日が長く感じてしまう時がある。

2人を育児することがしんどく感じる。

・子育て環境

現在子どもが2か月だが、もう少し大きくなってからの日中の過ごし方。

仕事から帰るのが遅いので、平日はなかなか子どもと遊べない。

夫婦共に朝7時すぎに家をでるが小学校にあがると一人時間ができるので不安である。

育休中で日中子どもと2人きりなので誰かと話がしたい。

家に引きこもりがちになる。

夫の転勤で実家が遠い。

保育所が、家の近くや入りたいところに入れない。

祖父母が遠方に住んでいるので、物理的に頼れない。

経済的不安

課題・対応策

☆育児相談体制

☆子育てサポート

☆子育て情報の一元化、子育てナビ

☆育児の段階に合わせた、タイムリーな情報提供

② 生活支援アンケート

質問 1. 年代

- ・対象者 387 人対し回答数 312 人で回答率 81%
- ・5 年前に比べ対象者（60 歳以上の独居あるいはのみ世帯人数）が 223 人→326 人と 103 人の増。
- ・特に団塊の世代（S22～S24 生まれ）を含む 70 代は 94 人→169 人と 76 人の増

課題・対応策

☆団塊の世代がすべて 80 代になるのは 6 年後、次期 7 次計画はさらなる高齢者対策が必要となると思われる。

質問 2. 買い物について

(1) 車の運転をする人がおられますか。

運転する人 245 人（80%）、しない人 63 人（20%）

(2 - 1) 買い物は誰がしますか。（運転しない人 63 人の内）

自分 48 人（75%）、自分以外 16 人（25%）

(2 - 2) 自分で買い物をする方はどうやって店に行きますか？

バス 20 人(29%)、徒歩 18 人(26%)、家族の車 10 人(14%)、近所の人の車 5 人(7%)、その他〔タクシー、バイク、自転車、ミニカーなど〕 17 人(24%)

(2 - 3) 自分で買物をしない方はどなたが買い物支援をしていますか。

家族 11 人、親族 1 人、ヘルパー 2 人、その他（友人、移動販売、配食）

(3) 車を運転しなくなったら、日々の買い物にはどうやって店に行くようになると思われるですか？（運転する人 245 人の内）

徒歩 117 人(32%)、バス 102 人(28%)、家族の車 58 人(16%)、近所の人の車 3 人(1%)、その他 83 人（宅配・ネットスーパー、自転車、タクシー、元気号など）(23%)

(4) 自分で買い物ができなくなった場合、地域で支援するとすれば何を望まれますか？

移動販売 46 人（23%）、買物代行 32 人（16%）、注文と配達 28 人（14%）、
コミバスの拡大・充実 26 人（13%）、移動手段の確保（送迎等） 19 人（9%）、
地域の車 14 人（7%）、タクシー代の補助・割引 10 人（5%）、介護ヘルパー 5 人
（2%）、その他 22 人（11%）

※運転免許証返納のきっかけ

- ・70 歳以上になって免許更新を迎えると次の更新が 5 年から 3 年更新となる。
- ・75 歳から免許更新時に認知検査があり、50 点以上取る必要がある。
- ・家族が同乗しているときにヒヤリハットがあった。

※現在ある買い物支援策

- ・元気号 週1回（公民館前、竹崎2、坂本3、福原4、耳高、ほか本庄、島根）
- ・買い物代行：ヘルパー（介護認定者のみ）
- ・注文と配達：生協・コープ（出資し組合員になる必要あり）
三河屋（介護保険利用者、弁当の配達に合わせ配達）

質問3. 現在、困っていることがありますか？（複数回答可）

雪かき 73 人、庭の草取り 65 人、草刈り 62 人、庭木の剪定 46 人、家の掃除 14 人、通院・受診 14 人、墓掃除 11 人、電球交換 11 人、食事作り 8 人、ご近所トラブル 8 人

その他 21 人（犬の散歩、ゴミ出し、親の世話、害獣、所有地の管理、犬猫の放し飼い、空き家周辺の環境悪化など）

なし 79 人

質問4. 参加している活動、してみたい活動はありますか？

・参加している活動

なごやか会 25 人、サークル 8 人、美化活動 8 人、からだ元気塾 7 人、ボランティア 7 人、公民館講座 6 人、地域自治会の役員 5 人、鶴友会 4 人など

・参加してみたい活動

公民館教室・社会見学 8 人、軽スポーツ 3 人、ウォーキング 2 人、若い人・子どもたちと交流してみたい 2 人、お茶のみおしゃべり会 1 人、ボランティア 1 人、ふるさと祭りのバージョンアップ 1 人など

・その他

なし 7 人、どんな活動があるのかがわからない 2 人、今は参加できないがそのうち参加したい 2 人

質問5. 持田地区社会福祉協議会へ望むこと

・具体的施策

見守り活動の充実 5 人

地区やなごやか会同志の交流の場（機会）を作ってほしい 3 人

ゴミ出し 2 人

川原にコミバスを 2 人

西持田にコミバスを

民生委員にもっと訪問してほしい

大雪の時の雪かき体制が欲しい

高齢者対策として有料ボランティアが欲しい

みんなの食堂の拡大

買物・通院の支援

シェアでタクシーを
各地区でなんでも相談を
気楽な問い合わせ先
持田地区で祭りをして交流を

- 計画について

アンケート内容を具体的な施策として実現してほしい
この計画の内容を広く広報してほしい

- その他

日頃の取組みへの感謝 8 人
活動内容がよくわからない 4 人
なるべく自治会に手間や経費をかけない活動にしてほしい

- 地区社協以外のことか

集会所が欲しい

自治会未加入者への対応をどうするか方針を示してほしい

地域住民への支援窓口を明確に

防災拠点として公民館や小学校で夜間を含め 24 時間滞在し課題を体験してみてもどうか。そこでの問題を明らかにし、住民に周知する必要がある。

野良猫で困っている

第 5 章

第 6 次地域福祉活動計画 ワークショップ結果まとめ

第6次地域福祉活動計画 ワークショップ 結果まとめ

「子育て支援アンケート」、「生活支援アンケート」の検証に基づき、「子育て支援」、「移送・買い物支援」、「生活支援（移送・買い物支援を除く）」をテーマとしたワークショップを実施した。

○日時 令和6年1月14日(日)13:30~16:15

○場所 持田公民館 2階集会室、1階教養室

○参加者 計画策定委員、民生児童委員、地区社協理事、福祉推進員、母子保健推進員
松江市社協職員、松江市健康推進課保健師 計40名

○ワークショップ結果

1 グループ 「子育て支援」について

「子育て中の親子の交流があると良い」

- ・子育て中の親の交流の場
- ・地域で子どもと大人が行動できるような行事
- ・保育園が複数で入学後の親も子どもも初対面で知り合う機会がない
- ・小さい（若い）人たちが参加するイベントがあるとよい
- ・公民館活動に参加できる人以外の交流の場が少ない
- ・一人っ子なので集団行動や教育面で地区をこえて子ども同士がふれあう機会があればいい。

「休みの日に参加できるイベントがあると良い」

- ・ふれあい食堂をもっと子育て支援の場として活用できないだろうか
- ・イベント（いも掘りなど）についてお年寄りなど一定の人に頼りすぎているのではないか
- ・イベント参加者もイベント企画に関わりを。やりたい人もいる
- ・子供会に修学前の子どもも参加できるとよい

「情報をどう届けるか」

- ・自治会未加入で、公民館の子育てに関するイベントがわからない人をどう救うか
- ・ワンオペ育児に行き詰っている人にこんな制度があると知らせたい
- ・子育て支援センターなど市に相談できる場所があることを知らせたい

「その他」

- ・対象となる子育て家庭へのアクセスが難しい
- ・外で子どもが遊んでいる姿をほとんど見ない
- ・父親の育児参加が進む地域になるよう支援したい
- ・地域に所属して（住んで）いる意識があるか
- ・魅力的な楽しいことを積み上げていけば自然と育つ

2 グループ 「移送・買い物支援」について

「移動販売車元気号について」

- ・元気号が立ち寄る場所に行けなかった人がいる（音楽が聞こえなかった、時間がわからなかった）
- ・週1回から週2・3回に増えるには
- ・来る日時は、場所は？
- ・他にも移動販売がいろいろあるといいが、いろいろあると元気号が成り立たなくなってしまうかもしれない。
- ・元気号の充実（回数増、冷凍食品などの品ぞろえ、時刻表、立ち寄り先増）のための支援が必要。

「買い物支援」

- ・介護保険を使うとヘルパーさんにどの程度支援してもらえるのか
- ・買い物代行をするシステムづくり
- ・丸合の衣類販売がなくなり困っている人がいる。
- ・なごやか会の時にシンクさんに来てもらった。

「コミバス・路線バス」

- ・コミバスの拡大が必要
- ・路線のバス停までかなり歩く必要があり、夏など何度も休憩しながら自宅に帰る人がいる。
- ・将来、家族に運転する人がいなくなった時、バス停・スーパーが遠い人の対策が必要

「移動支援について」

- ・移動手段をどうするか
- ・送迎できるものは何があるか
- ・菅浦の有償ボランティアを参考に持田版を考える

「その他」

- ・病院受診と買い物をセットにしていた人が店を閉じられて困っている人がいる
- ・なごやか会を行うと出欠確認時に様子を伺えるし、会のなかでも状況がわかる
- ・地域で一人ひとりの状況を詳しく知ることが必要
- ・支援するとすれば、まず各地区からと思われるが、実態が詳しくわからないところがある。

3 グループ 「移送・買い物支援」について

「移動手段の充実について」

- ・コミバスの拡大
- ・タクシー代の補助
- ・タクシー会社は運転者不足で、タクシーの利用が難しくなっている
- ・地域の車の利用

- ・コミバスの民営化
- ・コミバスは市負担 700 万、運賃収入 70 万程度。現状でもまずはバスの利用増を図る必要あり。
- ・介護施設からの病院往復の手配強化。実際に実施されているが、大半施設のみ
- ・福祉施設との移送支援

「自治会・地域の関わりについて」

- ・自治会に加入していない人が増えている
- ・地域での課題と個人で困っていることは違う
- ・自治会ごとにニーズの掘り起こしが必要
- ・困ったことがあれば助けてくれと言える人間関係をつくる
- ・福祉に関しては自治会加入・未加入関係なし。社協会費払う・払わない関係なし

「買い物」

- ・自転車で買い物をする、したい人が多い
- ・車いすでも買物のできるルートを作る
- ・下東川津町に大型商業施設ができて、買物が便利になったという方が増えた
- ・商業団体に働きかけ、商業施設専用のバスができないか
- ・車の運転をしない人は要介護認定を受けていないと買物代行してもらえない
- ・自分で店にいった、見て買物をしたい。
- ・買い物についての心配・不安等、今後大きな問題となると思われる
- ・高齢者の車の運転についての問題

4 グループ 「生活支援（移送・買い物支援を除く）」について

「困りごと」

- ・墓掃除
- ・ごみ出し
- ・雪かき（高齢者宅）
- ・草取り、草刈り
- ・森林整備
- ・鳥獣（イノシシ、アナグマ）被害
- ・空き家周辺の環境悪化
- ・認知症対策、介護者への支援

「自治会・地域の関わりについて」

- ・近所づきあいが少なくなった
- ・自治会員の減少
- ・高齢のため自治会の役員をできない人が増えた
- ・継承ごと等、自治会内の後継者不足

- ・働き手がいらない
- ・若い人と同居していても昼間は一人なので不安である
- ・公民館活動に参画する対象者もだんだん高齢に
- ・子どもが少ない
- ・少子化による世代間交流不足が懸念される
- ・問題（困りごと）解決には自治会の意思疎通を図り、活性化を

「要配慮者支援会議について」

- ・全地域で立ち上げを
- ・支援会議の活性化を
- ・各地区の支援会議の活性化のため持田全体での取り組みが必要

5 グループ 「生活支援（移送・買い物支援を除く）」について

「通学路の安全・災害対策」

- ・今回の能登半島地震のような急な災害に対してどう対処できるか
- ・大雨が降った時、側溝があふれ道路が川ようになった
- ・身の回りの危険個所の想定。倒木・竹の伐採
- ・北山林道のがけ調査。
- ・防火用水の確保と場所の確認
- ・火災報知機の立ち入り調査
- ・学童通学路の確保・整備
- ・ハザードマップで多くの危険地域があるが、一度専門家にアドバイスしてほしい
- ・防災スピーカーの設置
- ・（防災）災害ネットワーク連絡網の整備を
- ・通学路の整備は市道管理者の松江市で

「空き家・あき土地」

- ・空き家の周辺環境、日常の維持管理がされていない
- ・耕作放棄地の草刈り、草木整備
- ・隣の空き家の雑草や庭木が伸びて自分の家に入ってくる

「雪かき・積雪問題」

- ・独居高齢世帯の雪かき
- ・積雪時の駐車場の確保（集会所用地）
- ・雪で車が入れずデイサービスに行けない。ヘルパーが入れない。
- ・除雪は市で対応してほしい。除雪車の進入できない道路は自治会で対応し、費用の補助を検討願いたい。
- ・行政と自治会の取り組み
- ・持田地区に住む島大生の力も活用していく方法の検討

「野犬・イノシシ問題」

- ・野犬がいて困る
- ・野犬の場合は愛護団体へ連絡する
- ・イノシシが出没して道を荒らして困る
- ・イノシシは行政へ

「庭木の手入れ・墓の管理」

- ・墓掃除など管理
- ・隣家から木が乗り出して葉が落ちる
- ・生活道路の草刈り
- ・高齢者宅の庭木の剪定
- ・低価格で対応するボランティア組織
- ・お金をかければシルバー人材センターや業者へ依頼できるが、お金がない人はどうすればいいのか

「その他」

- ・家主が入院してしまって犬がひとりぼっち
- ・高齢者の情報収集
- ・ちょっとした家の修繕がたびたび必要だが費用もかかる
- ・ごみ屋敷、ゴミ出しのお手伝いを断られる
- ・行政の手続き
- ・近所に恥ずかしいからか救急車を呼んでくれない
- ・自治会加入世帯の減少傾向
- ・近所の助け合いの減少（自治会加入者の減少）
- ・少子高齢化は必然なのでそれを嘆くのではなく楽しもう
- ・元気号の北野さんのような若い人がもう2～3人いるといい
- ・住民が最初に思いつく相談先は公民館。皆さんのなじみのある所へ相談

6 グループ 「生活支援（移送・買い物支援を除く）」について

「ご近所問題」

- ・ゴミの出し方でトラブル
- ・所有地の管理

「雪かき」

- ・雪かきができない世帯がある
- ・市と協力し、除雪車が動かせる人の登録を
- ・雪かきはまず地区で
- ・近助、共助、自治会活動で
- ・自助、共助、公助。まずは自分でそして近所で協力する
- ・大雪に対して事前に話し合っておく。リーダーを決める

「困りごと」

- ・犬の世話
- ・庭木の剪定
- ・庭の草取り
- ・草刈り
- ・墓掃除
- ・家の掃除
- ・食事作り
- ・シルバーも人手不足、有償ボランティアの検討

「犬猫・鳥獣対策」

- ・猫の管理
- ・犬猫の放し飼い
- ・イノシシが家のそばまで出てきている
- ・保健所へ頼む

「その他」

- ・避難支援
- ・みんなの食堂の拡大
- ・身近に集う場所（やすらぎ喫茶のような所）
- ・持田地区で祭りを
- ・ふるさと祭りのようなイベントがあったら
- ・支援してほしい内容や希望をどこにつなげればいいのか、わかっているか不明
- ・生活支援が必要な人・世帯との接点が少ない。支援内容がわからない。（民生児童委員、福祉推進員に任せきりなのか）
- ・飲ミニケーションが必要





<移動販売車 げんき号>

げんき号は、坂本町在住の北野さんが毎週水曜日に移動販売車で持田地区内外を巡回しています。

第 6 章

第 6 次持田地区地域福祉活動計画

第6次持田地区地域福祉活動計画表

福祉目標	心豊かに住みよいまちづくり							
目的	課題	具体的内容	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	実施・協力団体
支え合い	生活支援	生活支援の情報提供・・・くらしの便利帳発行	実施	—			→	地区社協 市社協
		有償ボランティアなどの設立	検討	検討・実施	実施	—	→	地区社協 市社協
		交通手段の確保・・・コミバスの存続のための利用促進(増便・運行範囲の拡大)の取組み	継続実施	—			→	地区社協 コミティーバス利用促進協議会
	福祉担い手づくり	なごやか会の充実・支援	継続実施	—			→	地区社協 鶴友会 自治会 なごやか会 福祉推進員
		福祉推進員会活動の充実・・・役割を理解し、続けたい魅力ある会にするため、交流会や情報交換会の開催	継続実施	—			→	地区社協 福祉推進員会
	高齢者の日常的な見守り	配食サービス 年3回	継続実施	—			→	地区社協 福祉推進員会 民児協 配食ボランティア
		福祉推進員による定期的な訪問の仕組みづくり	検討・実施	実施	—		→	地区社協 福祉推進員会 民児協 なごやか会
	支援が必要な人への支援	自主防災隊、要配慮者支援会議の活動の充実・・・未実施地区の立ち上げ促進、持田地区全体の要配慮者支援会議立ち上げ	検討・実施	実施	—		→	地区社協 自治会 要配慮者支援会議 自主防災隊 千鳥福祉会
防犯意識の向上	防犯に関する情報提供・学習会の開催	検討・実施	実施	—		→	地区社協 地域安全推進員 鶴友会 川津交番	
子育て支援	児童の見守り居場所づくり	子ども達が安心して登下校できるように定期的な見守り活動	継続実施	—			→	地域安全推進員 青パト隊 交通指導員 川津交番
		挨拶運動 夏休み夜間パトロール	継続実施	—			→	公民館 少年を守る持田地区の会
		放課後・長期休暇中の居場所づくり 子ども広場・寺子屋事業・ふれあい食堂(子ども食堂)	継続実施	—			→	地区社協 公民館 少年を守る持田地区の会 子ども広場運営委員会 ふれあい食堂ボランティア
	孤独にならない子育て	親子の交流の場づくり にこにこ教室・わいわいルーム	継続実施	—			→	公民館 母子保健推進員
		誕生お祝い金	継続実施	—			→	地区社協
		子育て中の人への子育て支援情報提供の拡充	継続実施	—			→	地区社協 母子保健推進員会 松江市健康推進課
交流	地域とのつながり	やすらぎ喫茶の充実 魅力ある参加しやすい居場所の工夫	継続実施	—			→	地区社協 やすらぎ喫茶ボランティア
		敬老会を開催しやすいよう助成金で支援する	継続実施	—			→	地区社協
	住民の健康づくり	もちだ健康推進隊による健康づくり事業が活発に行われるよう支援する	継続実施	—			→	地区社協 もちだ健康推進隊 松江市健康推進課 食生活改善推進員会
		健康診断の受診率向上に取り組む	継続実施	—			→	地区社協 もちだ健康推進隊 松江市健康推進課

目的	課題	具体的内容	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	実施・協力団体
連携	民生児童委員 福祉推進員の連 携	合同研修会の開催など情報交換の出来る場の提供	継続実施	→			→	地区社協 民生児童委員 福祉推進員
	外部関係機関や 地区内団体との 連携強化	松江市・市社協・包括支援センター・川津交番などの外部団体や地 区内の鶴友会、自治会連合会、交通安全協会等の諸団体との連携 をとり、より有効な取り組みをする(共催事業など)	継続実施	→			→	地区社協 地区内団体 外部団体
	地域の福祉施 設との連携	千鳥福祉会・・・やすらぎ喫茶送迎支援 もちだの郷・・・災害時支援協定	継続実施	→			→	地区社協 千鳥福祉会 もちだの郷
		その他地域内にある福祉施設を知り、連携、交流を深める	継続実施	→			→	地区社協 地区内の福祉施設
	福祉推進員の 選任	福祉推進員の継続的な活動ができるような選任依頼をする (再任や増員の推進)	継続実施	→			→	地区社協 自治会 福祉推進員
広 報	適切な広報	活動内容を住民に分かり易く広報する 持田社会福祉だより(年1回) もちだ社協通信(年2回)	継続実施	→			→	地区社協

地区社協・・・ 持田地区社会福祉協議会

市社協・・・ 松江市社会福祉協議会

民児協・・・ 持田地区民生委員児童委員協議会

福祉推進員会・・・ 持田地区福祉推進員会

コミュニティバス利用促進協議会・・・ 本庄・持田コミュニティバス利用促進協議会

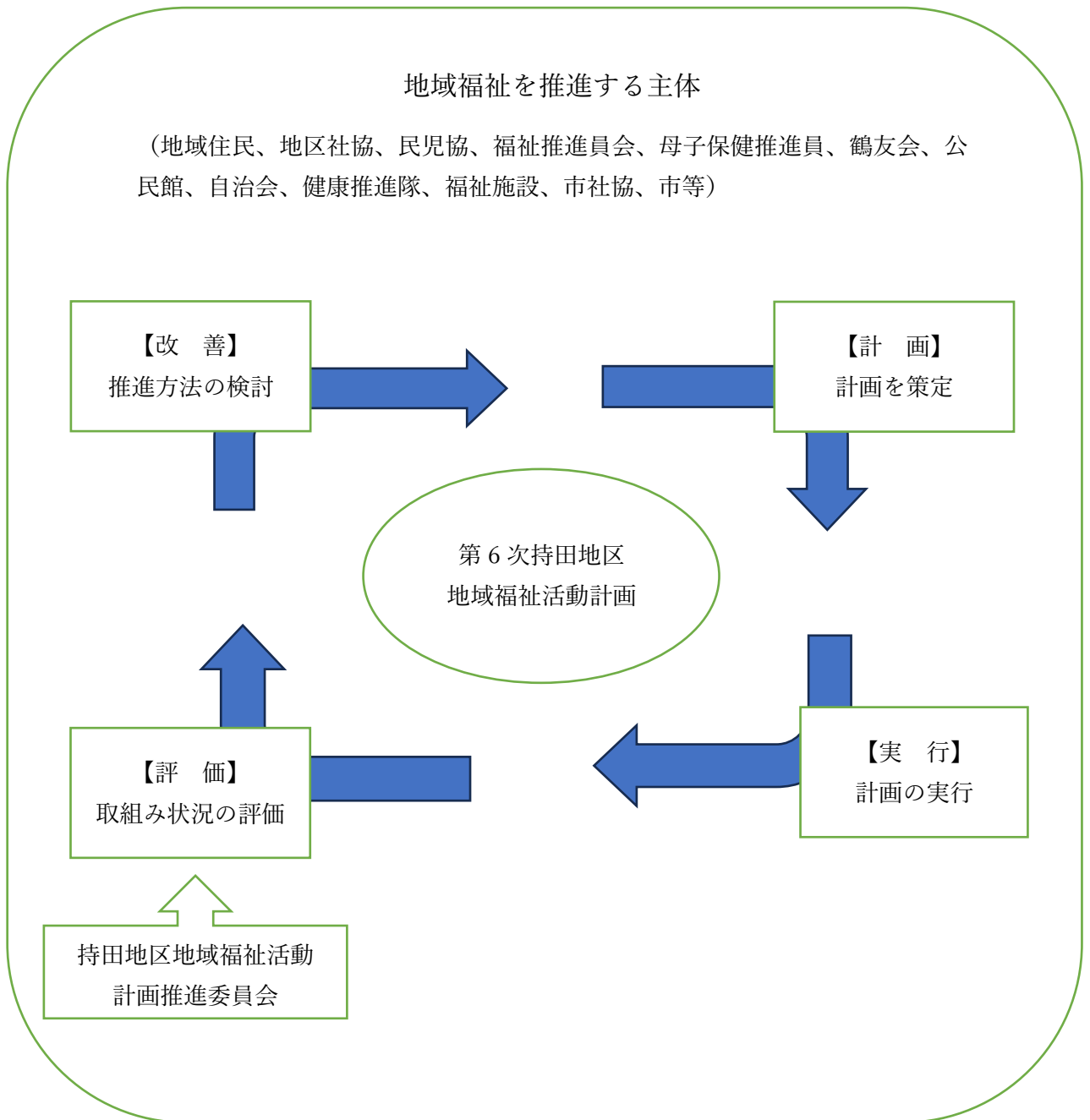
鶴友会・・・ 持田鶴友会

青パト隊・・・ 青色防犯パトロール隊

地域福祉活動計画推進体制

地域福祉活動計画に基づき活動を推進するためには、進捗管理が不可欠です。持田地区地域福祉活動計画推進委員会において、実施状況等の検証・評価を行い、計画の推進を図ります。

継続的な推進イメージ



第6次地域福祉活動計画策定までの経過

令和5年6月9日	準備会 ・第5次計画振り返り ・策定委員の選出 ・今後のスケジュール
令和5年7月18日	第1回策定委員会 ・第5次計画振り返りと評価 ・持田地区の現状について ・策定方法について
令和5年8月25日	第1回策定委員会小委員会 ・第5次計画の点検表作成 ・地域課題の抽出方法について
令和5年9月5日	子育て支援アンケート検討会 ・アンケート内容について ・アンケート実施方法について
令和5年9月15日	第2回策定委員会小委員会 ・地域課題の抽出方法（アンケート）について
令和5年9月15日 ～ 11月15日	子育て支援・生活支援に関するアンケート調査実施
令和5年12月8日	第3回策定委員会小委員会 ・アンケート集計について
令和6年1月14日	ワークショップ ・アンケート結果について ・課題についてワークショップ
令和6年1月22日	第4回策定委員会小委員会 ・前回のワークショップの振り返り ・福祉計画（案）づくり
令和6年2月9日	第5回策定委員会小委員会 ・福祉計画（案）について
令和6年2月19日	第2回策定委員会 ・経過説明 ・福祉計画（案）について
令和6年3月5日	地区社協理事会 ・福祉計画（案）について